

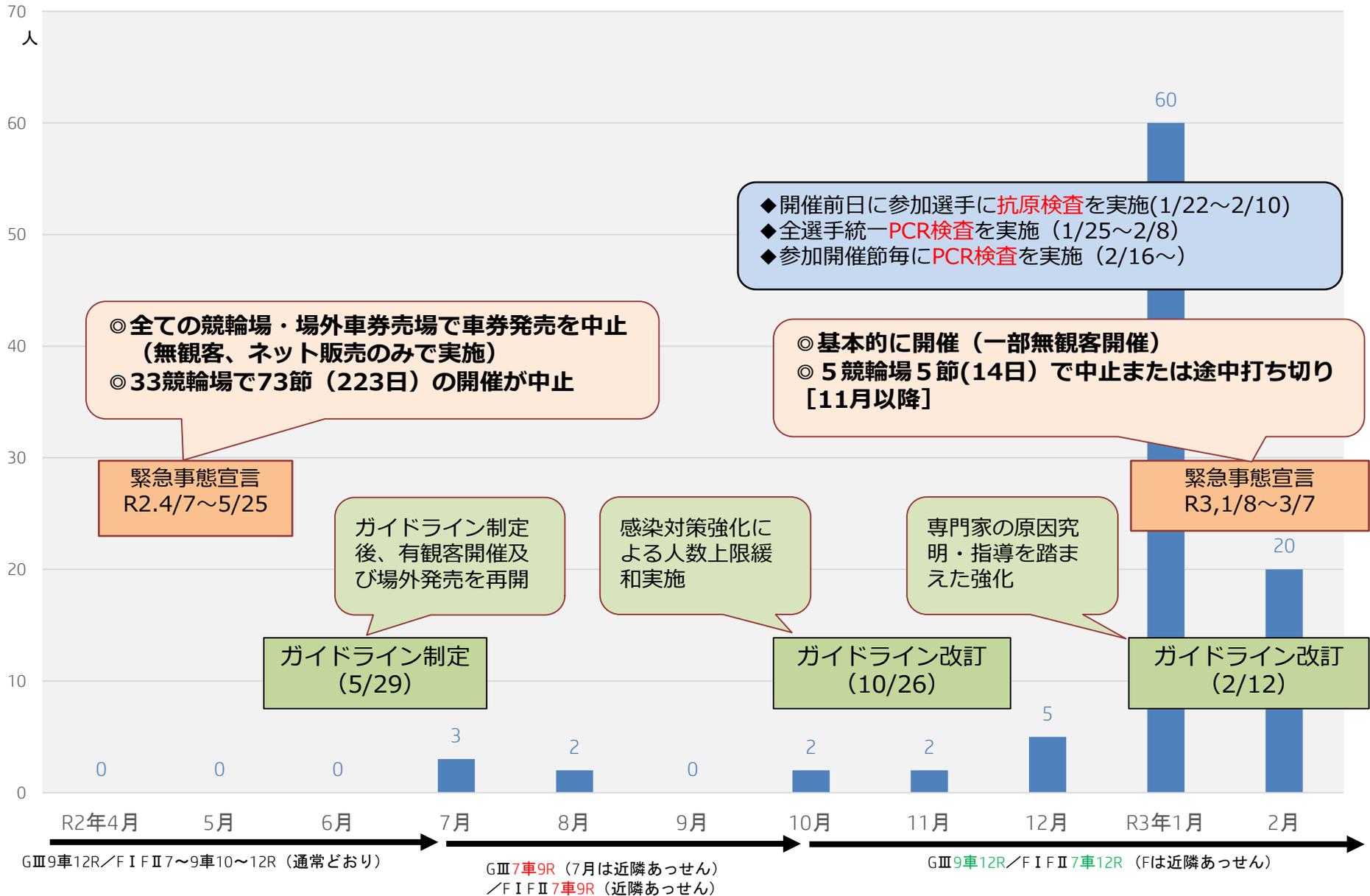
# 新型コロナウイルス感染症対策関連について

1. 感染症対策に係る取組み強化について
  - ・ガイドライン制定（令和2年 5月29日）
  - ・ガイドライン改訂（令和2年10月26日）
  - ・ガイドライン改訂（令和3年 2月12日）
2. JKAによる補助事業（緊急的な支援）報告
3. 選手など関係者によるコロナ感染症予防対策に対する支援

令和3年3月15日



# 競輪選手の陽性者数の推移



# 1. 感染症対策に係る取組み強化について①

- 令和2年5月29日、**有観客開催の再開及び場外車券場における車券発売再開**のために、**新型コロナウイルス感染症感拡大予防ガイドライン**を策定。
- 競輪・オートレースの選手、執務者等が実施すべき基本的事項を整理するとともに、場面ごとに具体的な感染拡大予防対策を規定。

## ガイドラインの主な内容(監修:奈良医大 笠原教授)

### ①選手、執務者等の対策

- 選手、執務者の体調把握(毎日)
- 体調不良時の診察(PCR検査等)
- マスク推奨、手指消毒、距離の確保 等

### ②競輪・オートレース場等の施設における対策

- 選手管理・競技エリアにおける3密対策
- レストラン等における飲食ガイドラインの遵守 等

### ③有観客開催における対策

- 都道府県知事との事前調整
- 医療機関・保健所等の連携確保
- 入場者の3密対策 等



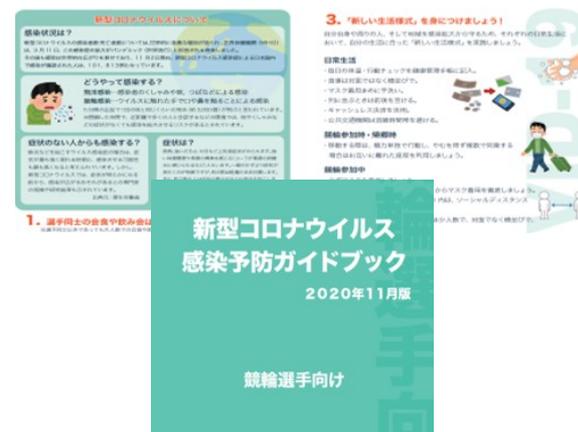
**無観客開催**  
**車券発売**  
**有観客開催**



【JKA健康管理手帳による選手及び執務者の体温、体調把握】



【検温体制】



【選手向けのパンフレット】

# 1. 感染症対策に係る取組み強化について②

- 令和2年7月26日、競輪選手から初めて新型コロナウイルス陽性者が判明したことから「感染者発生に伴う緊急対策」等を実施。

## 「感染者発生に伴う緊急対策」の主な内容

- 選手同士の会食や飲み会を行わないこと。
- 選手同士以外であっても大人数での会食や飲み会を行わないこと。
- 参加外の練習は、極力分散して行うこと。
- 参加時等移動する際は、極力単独で行動すること。
- 選手、執務者等各個人が「自分も感染しているかもしれない」という意識を持って行動すること。

## 感染リスク回避への取組み(参加選手の削減)

### 【競輪】

- 令和2年7月～9月開催…GⅢ・FⅠ・FⅡ▶7車×9レース(63名【最大:108名→63名(45名削減)】)
- 令和2年10月以降…GⅢ9車×12レース(108名)  
FⅠ・FⅡ7車×12レース【最大:108名→84名(24名削減)】  
※F開催について近隣地区選手によるあっせん

### 【オートレース】

- 令和2年5月～8月開催 7車×12レース(84名)【最大:96名→84名(12名削減)】  
※近隣地区選手によるあっせん

# 1. 感染症対策に係る取組み強化について③

- 令和2年10月26日、政府による人数上限の緩和等に係る指針を踏まえ、**新型コロナウイルス感染症感拡大予防ガイドラインを改訂**。
- 有観客開催における人数上限の緩和を実施（上限5,000人→収容率50%）。

## ガイドラインの主な改訂内容(監修:奈良医大 笠原教授)

### ①選手、執務者等の対策

- COCOA等の通知システムの導入 等

### ②競輪・オートレース場等の施設における対策

- 飲食エリア以外での飲食禁止の徹底 等

### ③有観客開催における対策

- COCOA等の通知システムの導入推奨
- 入場者の検温の実施、連絡先の把握
- 公共交通機関や飲食店等の分散利用の推奨
- 有料観覧席等の事前予約制の導入
- 入場者の分散退場の導入 等

これまで

5,000人 or 収容定数50%

の小さい方

GL遵守を条件

収容定数50%

まで緩和



【COCOAの導入等】



【入場者の検温】



【場内飲食店の対策】

# 1. 感染症対策に係る取組み強化について④

- 本年に入り競輪選手等の感染も拡大。緊急対策を実施するとともに専門家による原因究明。
- 令和3年2月12日、**専門家による原因究明及び指導を踏まえガイドラインを強化。**

## 緊急対策の主な内容

- ① 参加前の選手の検査実施（1月22日から2月10日）
- 抗原検査又はPCR検査。**陰性の選手のみで開催**
  - 44開催でのべ3,460名実施（陽性3名、陰性3,457名）
- ② 全競輪選手のPCR検査実施（1月25日から2月8日）
- 全競輪選手の陽性陰性把握のために実施。
  - 2,229名実施（陽性20名、陰性2,209名）

## 専門家による原因究明等

日付	競輪場	専門家
1月28日	和歌山競輪場	寺門医師（（公財）JKA 中央判定医師・日本競輪選手養成所 専属医・日本自転車競技連盟 日本ナショナルチームドクター）による現地調査及び國島教授（聖マリアンナ医大）による助言
1月31日	平塚競輪場	
2月4日	川崎競輪場（※）	
2月5日		島田医師及び芹沢医師（国立感染症研究所）による現地調査
2月6日	大宮競輪場	寺門医師、本多医師（埼玉県衛生研究所所長）による現地調査及び國島教授による助言

### 【主なご指摘】

- 選手控室、居室における選手のマスク着用の徹底
  - ローラー練習場における選手間の更なる距離の確保、パーテーションの設置
  - 食堂におけるパーテーション設置の追加 等
- （※）は参考資料参照

## ガイドラインの主な改訂内容（監修：奈良医大 笠原教授）

### ①選手関係の強化策

- **競輪開催節毎に、参加する全選手を対象にPCR検査の実施**（陰性選手のみで競輪開催）。
- **選手控室、居室におけるマスク着用の徹底**
- 競輪場内における**マスクを外しての会話の禁止、屋内喫煙室の廃止**
- **選手と同居家族の健康状態（発熱など）についてもモニタリングの対象に追加**

### ②施設関係の強化策

- 居室は原則個室。相部屋とする場合は、**専門家の確認により、カーテンやパーテーションの設置により個室相当と判定された場合のみ認める。**
- 食堂は対面の座席を廃止。かつ**パーテーションを設置。**
- **浴場の換気・人数制限を強化。**
- **選手控室におけるマスク着用の徹底。**選手間の適正な距離の確保（2m（最低でも1m））が保てない場合の**入場時間制限の実施。**
- 練習台を1台おきとする等の練習場における選手間の**更なる距離の確保、かつパーテーションを設置。**

# 1. 感染症対策に係る取組み強化について⑤

## PCR検査の詳細

### 定期的な選手等の PCR 検査

- 競輪選手及び競輪執務者については、令和3年2月17日を初日とする開催から3月末まで、有症状無症状問わず **PCR 検査を全選手対象とし、競輪参加毎に実施、PCR 検査『陰性』を確認した上で参加する。**
- オートレース選手及びオートレース執務者については、令和3年3月中に第1回PCR検査を実施予定  
※4月以降の統一検査実施方法については、全国の感染状況、競輪選手・執務員の陽性者発生状況等を勘案し、専門家の意見を踏まえ検査の方法と合わせ検討。

## その他感染症対策の強化

### ➤ 令和3年2月以降の開催【競輪】

新型コロナウイルス感染拡大のリスク回避のため、令和3年2月17日を初日とする開催から3月末までの競輪開催については、「追加・流用・補充のあつせんを行わない」「不足する選手は欠車とし、状況により繰上げ充当を行わない措置やレースカットも併せ実施する」等として運用

### ➤ 表彰式等式典の中止【競輪】

感染拡大防止の観点から、来場されるお客様、運営に携わる関係者、選手の安全・安心を最優先し、表彰式等式典について、当面の間執り行わない

## 2. JKAによる補助事業（緊急的な支援）報告

○新型コロナウイルス感染症により、様々な社会的課題を惹起していることに鑑み、令和2年度の「緊急的な対応を必要とする事業への支援」として、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に取り組む事業や活動を行う事業者を対象として、令和2年5月11日から9月8日まで募集を行い、総額 99,951千円（計69件）の支援を決定した。

（機械振興 2件、4,632千円 公益事業振興 67件、95,319千円）

・問い合わせ件数：876件 応募件数：238件 交付決定件数：69件



◆感染リスクのある通院負担の軽減を図ることを目的とした、重症児の訪問診療に必要な医療機器の整備  
（一社）Kukuru 沖縄県



◆感染予防・拡大防止のための支援、救援物資整備事業  
（公社）地域医療振興協会 東京都

### 3. 選手など関係者によるコロナ感染症予防対策に対する支援

#### 新型コロナウイルスに関連する医療従事者へ寄付

脇本雄太選手が発起人となり30名の競輪選手が、医療従事者を支援したいという思いから、競輪選手養成所や東京五輪・自転車競技の開催地である静岡県伊豆市を通じて、令和2年12月8日、日本赤十字社静岡支部に138万8889円を寄付した。



#### 静岡済生会病院に競輪関係団体が寄付金

新型コロナウイルスのクラスター（感染者集団）を収束させ、感染患者らの治療を続けている静岡済生会総合病院（静岡市駿河区）の医療従事者らに感謝の気持ちを伝えようと、日本競輪選手会静岡支部長の丸山啓一選手や競輪関係団体などが令和2年12月28日、済生会病院に60万円を寄付した。



#### G 1 初Vの郡司浩平選手が新型コロナ対策として川崎市に寄付

令和2年11月の競輪祭でG 1 初制覇に輝いた郡司浩平選手が、自身のホームバンクの川崎競輪を施行する同市へ、賞金の一部である50万円を寄付した。



#### 全日本選抜（G 1）決勝戦に進出した南関東勢が獲得賞金の一部を寄付

令和3年2月の全日本選抜競輪の決勝戦に進出した南関東の3選手（深谷知広選手、和田健太郎選手、郡司浩平選手）が、同レースで獲得した賞金の一部である100万円を慶友会第一病院（川崎市川崎区）へ寄付した。